

2024年7月14日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第16号(通算3398号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

小さくされている人を
大切に**する**教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に**する**神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)



ぶらくかいほういの ひ れいはい
部落解放祈りの日礼拝
せいれいこうりんせつ だいい しゅじつれいはい
(聖霊降臨節 第9主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙禱)

ちよさくけんしょうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しよ
イザヤ書

しょう せつ
43章 1-2節

さんびか
賛美歌

ばん 21-202番「よろこびとさかえに満つ」(©教団讚美歌委員会)

せいしよ
聖書

ふくいんしよ
ヨハネによる福音書

しょう せつ
6章 16-21節

ぶらくかいほういの ひ
「部落解放祈りの日」の交唱

みんなで

さんびか
賛美歌

ばん 21-444番「気づかせてください」(©教団出版局)

メッセージ

おそ
「恐れることはない」

みづたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

さんびか
賛美歌

ばん 21-393番「こころを一つに」(©教団讚美歌改訂委員会)

しゅいの
主の祈り

ばん 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物(*)

はけん
派遣

ばん 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく
祝福

みづたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

こうそう
後奏

ばん 21-40-6番「アーメン コーラス」(©教団讚美歌委員会)

ほうこく
報告

ページ さんしょう
(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ^{まね} ^{ことば} イザヤ書 43章 1-2節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹しかし、ヤコブよ、あなたを創造された方

イスラエルよ、あなたを形づくられた方／主は今こう言われる。

恐れるな。私があなたを ^{あがな}贖った。／私はあなたの名を呼んだ。

あなたは私のもの。

²あなたが水の中を渡るときも／私はあなたと共におり

川の中でも、川はあなたを押し流さない。

火の中を歩いても、あなたは焼かれず／炎もあなたに燃え移らない。

聖書 ヨハネによる福音書 6章 16-21節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹⁶夕方になって、弟子たちは ^{こはん}湖畔に下りて行った。¹⁷そして、舟に乗り、湖の向こう岸のカファルナウムに行こうとした。すでに暗くなっていたが、イエスは彼らのところにまだ来ておられなかった。¹⁸強い風が吹いて、湖は荒れ始めた。¹⁹二十五ないし三十スタディオンばかり ^こ漕ぎ出した頃、イエスが湖の上を歩いて舟に近づいて来られるのを見て、彼らは恐れた。²⁰イエスは言われた。「私だ。恐れることはない。」²¹そこで、彼らはイエスを舟に迎え入れようとした。すると間もなく、舟は目指す地に着いた。(脚注 a: 直訳「海辺」)

「部落解放祈りの日」の ^{リタニー}交唱

^{しかいしゃ}司会者 ^{うま} ^{なかま} 生れたところで仲間はずれにするわたしたちがいます。

^{みんな} ^{たいせつ} でも、みんな大切なひとりひとり。

^{しかいしゃ}司会者 ^{びょうき} ^{なかま} 病気やしょうがいによって仲間はずれにするわたしたちがいます。

^{みんな} ^{たいせつ} でも、みんな大切なひとりひとり。

^{しかいしゃ}司会者 ^{なかま} ^{ひとびと} ^{いっしょ} イエスさまは、仲間はずれにされた人々と一緒にご飯を食べました。

^{みんな} ^{たいせつ} だから、みんな大切なひとりひとり。

^{しかいしゃ}司会者 ^{びょうき} ^{くる} ^{ひとびと} イエスさまは、病気に苦しむ人々をぎゅーっと抱きしめられました。

^{みんな} ^{たいせつ} だから、みんな大切なひとりひとり。

^{しかいしゃ}司会者 ^{つく} ^{かみさま} わたしたちを造られた神様が言われます

^{ぜん} ^{いん} ^{たいせつ} 全員 みんな大切なひとりひとり。アーメン。

※ このリタニーは、第10回部落解放全国会議の分科会(「部落解放祈りの日」式文を作ろう)にて参加者によって作成されました。子どもと一緒に祈ることを主眼にしています。

《先週のメッセージより》7月7日

「真実の持つ力」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 5章 31-40節

「聖書は私について証しをするものだ」(39) というイエス様の言葉は「イエス・キリストのことは、旧約聖書の中に何百年も以前から預言されていた」という表層的な意味で、イエス様が自己弁明したのではなく、「私の行っていること、その業、行動の全ては、私個人から出たものではなく、神様から出たものであり、聖書に裏付けられ、支えられているものだ」ということを言われたのだらうと思います。イエス様は何故その生涯を通して力強く歩めたのか、敵対者から迫害されても、逃げることなく歩むことができたのか。それはイエス様が神の子だから、生まれた時からのスーパーマン、超能力者としてすごかったのではなく、ヘブライ語聖書の中に記されている通り、この世界を創られた命の神は、全ての命を愛おしまれ、大切にされる方であり、それらが傷つけられたり、失われたりすることを望んでおられない。窮地にあっても、かならず助けがある。いつでも神様が共にいて下さって、自分は一人ではない。そのようなことの一つ一つに全幅の信頼を寄せて、一步ずつ歩んで来られた。その結果が、イエス・キリストのこの地上での歩みに他ならなかったのだらうと思います。今から約2000年前にパレスチナの地を歩まれたイエス様は、時の権力者たちによって暴力をふるわれ、十字架刑という処刑に処せられました。しかし、「真実をしっかりと掴んでいた(サティヤグラハ)」(ガンディー) 彼は、敵対者たちを前にしても妥協することもなく、十字架から逃げることもなく、非暴力不服従を貫き、真実だけが持つ力によって、真実に踏みとどまり、暴力に抵抗し、復活させられ、今も多くの人々の中に息づいています。

「守るべきものすべてにも増して、あなたの心を保て。命はそこから来る」(箴言4:23)の言葉の通り、神様から創られたあなた自身の心の中に、真実を見分け、命へと至る心があります。その心に嘘をつくのではなく、正直に、素直になって向き合う時、私たちは真実をしっかりと掴み、命へと至る道、イエス様の後に従って歩む道へと、導かれて行きます。権力に忖度(そんたく)するのではなく、嘘に嘘を重ねるのではなく、真実に生きることができる。そこに他ならない神様も共にいて下さる。だからこそ正しい道を歩んでいくことができる。その心と力が与えられていることを信頼して、今日もここから、私たちは一步を踏み出して参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 7月7日

礼拝出席 大人4名 献金 大人4,000円 中継視聴者数25回 感謝

◎次週 2024年7月21日(日) 聖霊降臨節第10主日礼拝

招きの詞 ヨハネによる福音書 6章 32-33節

聖書 ローマの信徒への手紙 14章 13-23節

メッセージ 「全ては平和のために」牛田匡牧師

賛美歌 21-421番(©出版局)、21-486番(©JASRAC)、21-499番(©JASRAC)

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・明日7月15日(月・休)11時半~14時に小阪教会にて「美味しいひとときを味わおう! 本格石窯で焼くピザ作り体験交流会」が開催されます。入場無料です。詳細は小阪教会までお問い合わせ下さい。

小阪教会のウェブサイト <https://www.eonet.ne.jp/~kosakach>

- ・7月26日(金)18時から、東梅田教会(大阪メトロ「扇町駅」「東梅田駅」、JR「大阪駅」下車・徒歩)にて、「戦争プロパガンダの恐ろしさ ポスター・雑誌・映画による民衆操作」の講演と展示会が開催されます。講師は元大阪府立高校教員の河田隆史さんです。「『戦争は悲惨である』とを伝えることは非常に大切です。しかしそれだけでは戦争を止めるのは不十分です。『敵が攻めて来た』の一言でひっくり返るからです。そして一旦戦争が始まれば、戦争への疑問を持つことは利敵行為になり、裏切りになります。戦時中の日本のプロパガンダから多くを学ぶことができます。なぜ私たちは戦争に協力した

のか、その様子をポスターや映像から伺うことができます。これらのプロパガンダを過去のものではなく。現在の情報操作に大いに参考になるものとして学びたいものです」(講師より)

なお、河田さんがこれまで集めてこられた戦争プロパガンダのポスターや雑誌などは、26日(金)~28日(日)の10時~18時まで会場に展示されています。講演会も展示会も入場無料です。どなたでもご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
7/21	牛田匡牧師	おにぎり支援
7/28	牛田匡牧師	誕生者祝福式
8/4	牛田匡牧師	(平和聖日)ユーカリスト
8/11	水谷憲牧師	

講演と展示会

講師：河田隆史(かわたたかし)さん
高槻日吉台教会員。元大阪府立高校教員。

2024年7月26日(金)午後6時
会場：日本基督教団東梅田教会
参加費無料

「戦争は悲惨である」ことを伝えることは非常に大切です。しかしそれだけでは戦争を止めるのは不十分です。「敵が攻めて来た」の一言でひっくり返るからです。そして一旦戦争が始まれば、戦争への疑問を持つことは利敵行為になり裏切りになります。戦時中の日本のプロパガンダから多くを学ぶことができます。なぜ私たちは戦争に協力したのか、その様子をポスターや映像から伺うことができます。これらのプロパガンダを過去のものではなく。現在の情報操作に大いに参考になるものとして学びたいものです。(講師より)

戦争プロパガンダ展

7月26日(金)~28日(日)
会場：日本基督教団東梅田教会
時間：午前10時~午後6時
入場無料

河田さんがこれまで集めてこられた戦争プロパガンダのポスターや雑誌などを特別に展示いたします。また、26日と28日は河田さんが会場におられます。

東梅田教会へのアクセス

最寄り駅：大阪メトロ「扇町駅」「東梅田駅」・JR「大阪駅」
住所：大阪市北区野崎町9-6

主催：日本基督教団大阪教区社会委員会
集会についてのお問い合わせは ucj.osaka.shakai@gmail.com まで

戦争プロパガンダの恐ろしさ
 ポスター・雑誌・映画による民衆操作